



▲下水道運営委員会で熱心に議論する委員

審議会などは広く人材を

答弁 = 人選はいろいろなケースが

町が新しい施策を進める
とき、審議会などに意見を
求め、あるいは、諮問につ
いて追認を求める訳です。
その審議会、委員会を立ち
上げる時、各グループが
選考基準、要綱に基づき個
別に人選しているようだが、
各種団体に安易に委員をゆ
だねていないか。
住民から広く人材を求め
るために広報で募るか、各
自治会推薦によって、より
深く人材の発掘に努め、そ
のの人々を登録するべきでは。
また、各々の分野(趣味、
スポーツなど)の人材名簿
を作成し、活用するよう
にしては。

答弁 清水町長

審議会などの人選の方法
は、自治会推薦が最も多く、
次に担当グループで直接お



藤原 秀策

願うケースや、商工会
などの各種団体にその都度
推薦を依頼している。公募
委員の選任にも取り組んで
いるが、応募が少なく、よ
り多くの応募を期待し、大
歓迎する。
各々の分野においては、
中央公民館、スポーツクラ
ブ2はりま、コミセンの各
種団体に指導をお願いして
いる。

土山駅南ロータリー

本町は、大中遺跡、ある
いは日本で初めて新聞を発
行したジョセフ・ヒコ生誕
の地です。このように他市
町に誇れるものがあり、こ
のことを大いに発信すべき
との思いから、町の玄関口
としてふさわしい標識の類
「大中遺跡のまち播磨町」
などを立ててみては。

答弁 柘田理事 非常に難しい問題

本町は、土地的に制約が
あり非常に難しいと考えて
いる。近隣市町との共同墓
地についても同様にして
いる。

町営地の活用

駅南広場はいろいろな着
想に基づき整備に努めてい
る。中島においては、古代
悠久の雰囲気を出す部分で
あり、景観を害する文字は
避けたい。標識については、
今後の整備にあわせて全
体的な検討をする。

答弁 木村理事 全体的な検討が必要



▲貴重な資源を地域と共守ることが望まれる

ため池協議会の設立支援を

答弁 = 地域での話し合いから

ため池は、人の手で守ら
れてきた貴重な資源として
「里池」とも言われている。
このため池を地域で保全す
る活動「いなみ野ため池ミ
ュージアム事業」の支援は、
施政方針でも約束されてい
る。町内には12のため池が
残されており、3か所で協
議会が設立されているが、
なかなか広がらない現在、
いかに設立を支援するの
か。

答弁 柘田理事

具体的な支援は、金銭的
支援・会合への出席による
情報提供・事業支援など。
協議会の設立は、町が率先
するのではなく、地域か
らの発意に対して相談に応
じていきたい。支援の窓口
は、今後とも住民グルー
プが行うが、グループ間の連
携が必要なケースでは、内
部調整を図っていききたい。

答弁 山下副町長 早計には示せない

削減目標は、塵芥処理セ
ンターの削減が貢献して達
成している。なお、実行計
画期間中に組織が改正され、
推進体制の整備や情報の公
開まで行き届いていない。
早計な実行計画の策定をす
られないのか。

答弁 清水町長 幅広い住民の声を聞く

行政懇談会は45自治会で
開催し、延べ千三百人の方
が参加。タウンミーティン
グでは5月以降6回開催し、
延べ百五十の方が参加。
提案に対する町側の見解
は、広報では誌面に限り
があり示せない。なお、自
治会には個別に回答したい。



福原 隆泰

率先した温暖化防止を

対話型行政の成果は

緑生会

住民は、町長と直接対話
できることで、地域課題の
解決、提案や要望が実現さ
れることを期待している。
今年度は自治会員との行
政懇談会を取りやめてタウ
ンミーティングを行っている
が、なぜ方針を変えたの
か。またこれまでの実績は、
更に、要望などに関して
は、③すぐに実行の検討後
に実行の将来的に検討の目
途が立たない、などご分
りやすく回答できないか。

後、審議会へ諮問すべきか、
行政が率先する自主的な取
り組みも含めて検討する。